



遠隔医療を学ぼう！知ろう！

日時 2017年12月17日（日）13:00～16:00

会場 名古屋国際センター 第三研修室（4階）

〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

<http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/archives/3856>

講師 森田 浩之氏

岐阜大学大学院 医学系研究科総合病態内科学 教授

遠隔医療－現状と未来－

遠隔医療とは、対面ではなく何らかの通信手段を用いて間接的に医療や医療の補助を行うことです。医療の専門分化・高度化とともに都市部に偏在する専門医を地域で補完する1つの手段としてだけでなく、医療スタッフ間の連携や教育、救急、介護、見守り、健康管理、通訳などの多方面に広がっており、最近ではロボットや人工知能の応用なども行われるようになってきています。これらの実例を紹介するとともに、一緒に遠隔医療の未来を考えてゆきましょう。

講師 吉田 穂波氏

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 准教授

母子健康手帳の利活用と難病患者支援の可能性

妊娠・出産から子育て期間を通じ、子どもや家族が人と繋がり、地域と繋がり、助けを求め易いような環境作りとは何か、また、ケアが必要な子どもや大人を災害時にどう守るのか、地域での医療的ケアが必要な乳幼児には役立つ情報共有ツールとはなにか、現在行われているPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）研究事業をはじめとした、最新の成果を報告します。

参加申込 下記の専用フォーム、またはQRコードからお申込み下さい。

<http://cdi-net.com/news/event-join/>

参加費 【遠隔医療の勉強会】500円 【懇親会（16:30～）】3,000円

※参加費は当日払いです。講師を囲んでの懇親会もご参加下さい。

対象者 一般・医療関係者など（先着50名）



主催：中枢性尿崩症(CDI)の会

共催：下垂体患者の会

後援：一般社団法人日本遠隔医療学会

講師紹介

■ 森田 浩之氏

ご経歴 1984年3月 高知医科大学卒業
1984年5月 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県立下呂温泉病院、長浜赤十字病院、澤田病院で研修
1989年6月 岐阜大学医学部附属病院・医員
1993年7月 岐阜大学医学部・助手
1995年2月 米国ミズーリ大学医学部・研究員
1997年3月 岐阜大学医学部附属病院・助手
1999年8月 岐阜大学医学部附属病院・助教授
2014年6月 岐阜大学大学院医学系研究科・教授
2017年6月 日本遠隔医療学会副会長・学会雑誌編集委員長

■ 吉田 穂波氏

ご経歴 産婦人科医／医学博士／公衆衛生学修士。三重大学医学部卒業。聖路加国際病院で臨床研修のち、名古屋大学大学院で博士号を取得後、ハーバード公衆衛生大学院修了。東日本大震災以降は災害時母子救護システム構築に取り組む。現在は神奈川県にて母子保健医療政策の推進と人材育成に携わっている。

当日の予定

■ 司会：酒巻 哲夫氏（NPO 法人日本遠隔医療協会 理事長 ・ 群馬大学 名誉教授）

- 12：40～13：00 受付
- 13：00～13：10 開会、趣旨説明、講師の紹介など
- 13：10～14：10 森田浩之氏
「遠隔医療－現状と未来－」
- 14：10～14：30 休憩
- 14：30～15：30 吉田穂波氏
「母子健康手帳の利活用と難病患者支援の可能性」
- 15：30～16：00 意見交換、閉会
- 16：00～16：30 アンケート記入、休憩
- 16：30～18：30 懇親会
- 19：00 終了



- ・お手洗い、水分摂取、休憩は自由に行ってください。（体調第一に無理はしないで下さい）
- ・ゴミは各自でお持ち帰り下さい。
- ・アンケート調査へのご協力をお願いいたします。今後の活動に役立てます。

【お問い合わせ先】 中枢性尿崩症(CDI)の会 副代表 大木里美（遠隔医療勉強会の担当者）
メールアドレス enkakutokoton@yahoo.co.jp